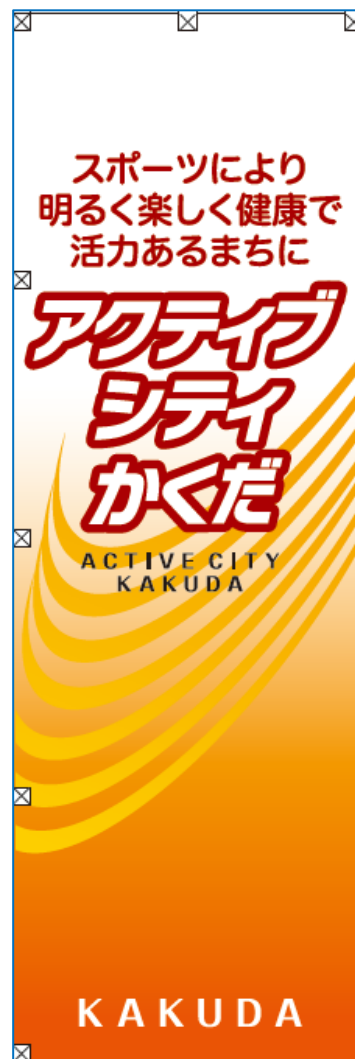


第2期角田市スポーツ推進計画 前期(R6～R10)アクションプラン

～令和6年度版～



令和7年3月

角田市教育委員会

＜目次＞

1	はじめに	
	（１）第２期角田市スポーツ推進計画について	P2
	（２）前期・後期アクションプランの策定の趣旨	P3
2	第１期計画(H26～R5)の評価と第２期計画前期アクションプランの方向性	
	（１）第１期計画の評価	P4
	（２）第２期計画前期アクションプランの方向性	P9
3	前期アクションプランの２つの重点プロジェクト	
	（１）日常における身体活動推進プロジェクト	P10
	（２）みんなで取り組む風土醸成プロジェクト	P11
4	前期アクションプランの個別施策	
	基本目標１ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	P12
	基本目標２ 日常生活における身体活動の推進	P14
	基本目標３ 地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の推進	P15
	基本目標４ 誰も快適に親しむことができるスポーツ環境の整備	P16
5	計画の進行管理(C)について	P18
6	計画の評価(C)・改善(A)について	P18
	角田市スポーツ推進計画における「11の数値目標」の進行管理表	
	角田市スポーツ推進計画「38個の施策」評価シート	

角田市スポーツ推進審議会委員名簿

（令和７年３月策定時）

種別	氏 名	職 名
条例第３条 第２項第１号 （スポーツに関する 学識経験のある者）	弓 田 恵里香	仙台大学 准教授
	佐 藤 文 雄	県立角田支援学校 元校長
	吉 田 智 彦	（公財）笹川スポーツ財団 シニア政策ディレクター
条例第３条 第２項第２号 （スポーツ関係団体の 代表者）	渡 邊 峰 雄	角田市スポーツ協会 会長
	草 間 進	N P O 法人スポコムかくだ 会長
	井 上 眞 弘	角田市スポーツ少年団本部 本部長
条例第３条 第２項第３号 （関係行政機関の職 員）	岡本 圭一郎	角田市社会福祉協議会 事務局次長
	山 家 一 博	北角田中学校 校長
	森 谷 幸 子	角田児童センター 館長

1. はじめに

(1) 第2期角田市スポーツ推進計画について

第2期角田市スポーツ推進計画(R6～R15)は、『『アクティブシティかくだ』の実現～明るく楽しく健康で活力あるまちづくり～』を基本理念とし、角田市の現状・課題に対応するために4つの基本目標を掲げ、38個の施策ごとに具体的事業を展開し目標の実現を図ることとしております。

さらに、本計画の進捗状況管理の指標として、11の数値目標を定めております。

<計画の全体像>

□□□・・・前期アクションプランでの重点施策を示します。

基本目標	現状・課題	15の施策の方向	38個の施策	11の数値目標
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	子どものライフスタイルの変化 小中学生の運動能力が全国平均を下回る	1 乳幼児・子ども・若者スポーツの推進	1 未就学児童から児童生徒の健康な身体づくりと体力・運動能力の向上 2 小学校におけるスポーツ推進 3 中高生におけるスポーツ推進	① 週2回以上運動を行う人(20歳以上)の割合 男 30.8%⇒40% 女 29.5%⇒40%
	働く世代のスポーツを行う機会、時間の減少 健康増進効果への注目	2 働く世代・子育て世代のスポーツ活動の推進	4 家族で楽しめるスポーツプログラムの実施 5 スポーツレクリエーションへの参加の促進 6 健康・体力維持向上・疾病予防のためのスポーツ・運動の推進 7 女性の参加促進・環境整備の検討	② 生活活動で歩行と同程度以上の活動を1日30分・週2回以上行う人の割合 65.7%⇒75.0%
	高齢化時代へ突入、医療費等の増大	3 高齢者のスポーツ活動の推進	8 気軽に参加できる運動機会の提供 9 高齢者スポーツ大会への参加促進 10 世代間交流によるスポーツ活動の企画	③ 新体力テストにおける値が全国平均値以上の項目数(全8項目) 1～5⇒4項目
	障害者のスポーツ参加支援の必要性が高まる	4 障害者のスポーツ活動の推進	11 パラスポーツ普及の促進・障害者対応の種目紹介や体験 12 スポーツ・レクリエーション大会への参加促進	④ 総合型地域スポーツクラブの会員数 全体 422人⇒600人 Jr.会員 343人⇒490人 ⑤ スポ少の団数と団員 379団員⇒400団員 24団⇒25団
日常における身体活動の推進	日常的な運動習慣の低下	5 日常生活における身体活動の推奨	13 チャレンジデー参加率の向上	⑥ チャレンジデー参加率 30.9%⇒50.0%
	健康寿命の低下	6 家庭における身体活動の推奨	14 家庭でできる健康づくりメニューの推奨	
	職場環境の改善	7 職場における身体活動の推奨	15 市内企業に対する「健康経営」の推奨 16 職場におけるスポーツ活動の促進	
地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進	地域コミュニティの希薄化 コミュニティ機能、地域活性化機能への注目	8 市民参加型のスポーツイベント活動の推進	17 市民参加型のイベントの推進 18 総合型地域スポーツクラブの充実 19 地域スポーツ運営組織「スポーツネットワークかくだ」の充実	⑦ 人々が交流する大会開催・誘致数(全国・プロ) 2試合⇒5試合
	急激な少子高齢化、東京一極集中による地方消滅の危機	9 スポーツツーリズムの推進	20 観戦スポーツ・トップアスリートとの出会いの推進 21 スポーツ交流の促進	⑧ 阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数 1,500人⇒2,000人 市内 469人⇒1,000人
	競技スポーツの支援体制の未整備	10 競技スポーツの推進	22 競技力向上を図る競技団体の支援 23 指導者の育成 24 地域クラブ活動の推奨 25 プロスポーツを活かしたスポーツの振興	⑨ 市民大会以上の規模の大会の開催数 77件⇒100件
	ライフスタイル、個別のニーズの多様化、施設の老朽化	11 公共施設の有効活用促進	26 学校体育施設の開放事業の充実 27 市民のニーズに応じたスポーツ施設の整備 28 施設の安全と利便性の向上	⑩ 公共スポーツ施設の年間延利用者数 193,725人⇒250,000人
誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備		12 効果的な情報発信	29 各種スポーツ情報の充実 30 多様な媒体での情報発信	⑪ 阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数(実行委員会構成団体以外の者) 59人⇒150人
	指導者の高齢化	13 スポーツ団体活動の支援体制の充実	31 スポーツ団体・健康推進団体の育成・支援 32 地域スポーツと学校との連携推進	

	スポーツに期待される役割、機能の拡大に伴う知識、人材の不足	14 スポーツに関わる人材の育成と活躍の場の確保	33 指導者の育成 34 専門指導者の派遣や特別講習会等の開催 35 スポーツ協会や競技団体との連携による強化事業の展開	
		15 自然と体を動かしたくなる、動かしてしまう環境の整備	36 公園や道路環境の整備推進 37 健康ポイント事業の利用拡大 38 ナッジ理論を用いた周知・啓発	

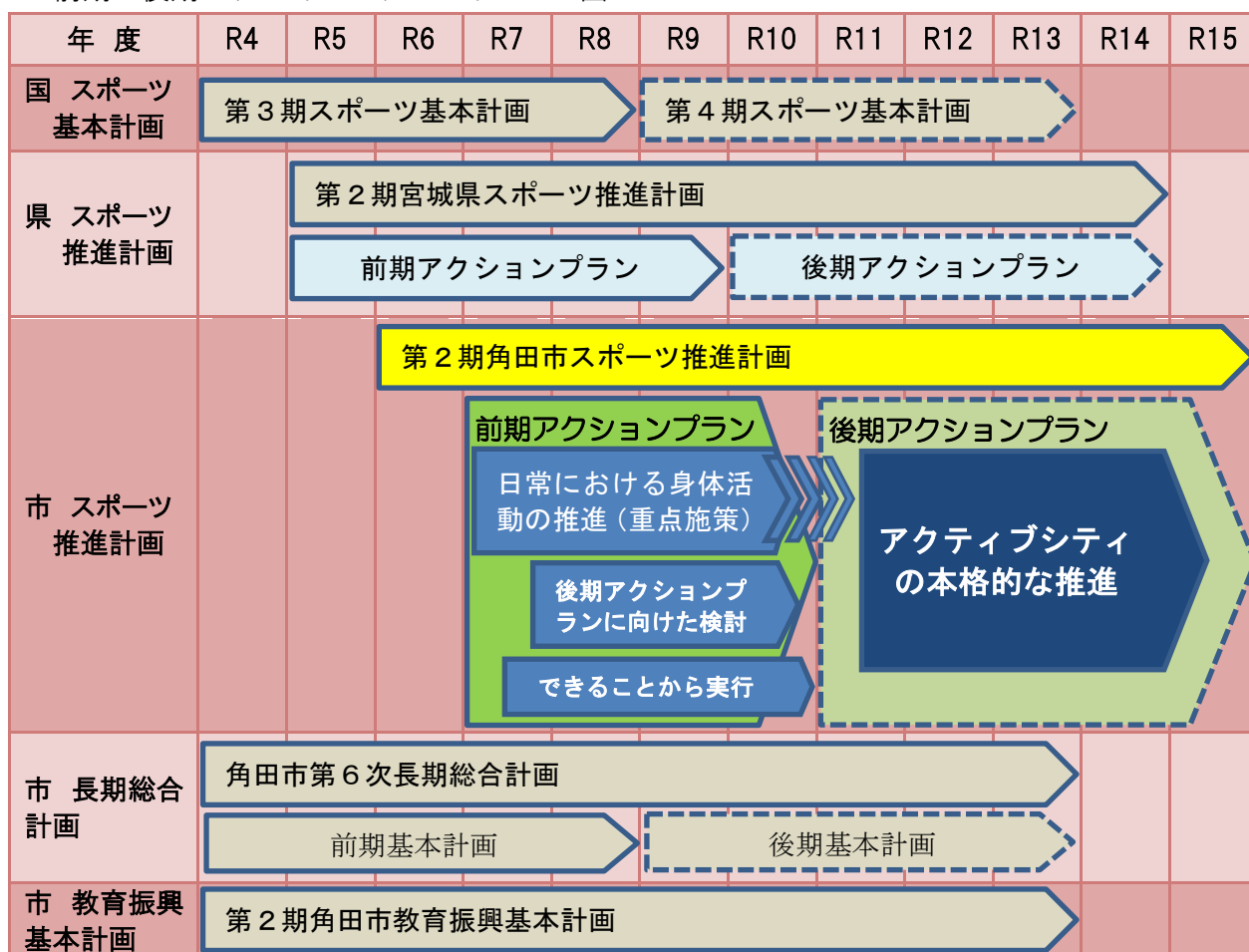
(2) 前期・後期アクションプランの策定の趣旨

本計画を10年間で実現するためには、優先度が高い取組みについて効果的かつ効率的に実施していく必要があります。

そのために、計画期間の10年を5ヵ年ごとに区分し、まず「前期5年間」では『日常における身体活動の推進』に関連する施策を重点施策と位置づけ、計画を推進する体制をしっかりと整備し、その後「後期5年間」において、計画の『本格的な推進』を図ることとします。

さらに、着実に計画を実行するために、前期・後期アクションプランとして別にまとめます。

＜前期・後期アクションプランのイメージ図＞



なお、後期アクションプランについては、前期アクションプランの評価、国の動向等を十分に整理し策定いたします。

2 第1期計画(H26～R5)の評価 と 第2期計画前期アクションプランの方向性

(1) 第1期計画の評価

第1期角田市スポーツ推進計画(H26～H35(R5))は、「市民1人1スポーツ」を基本理念とし、角田市の現状・課題に対応するために3つの基本目標に9つの施策の方向性を掲げました。さらに、25個の施策ごとに具体的事業を展開し、数値目標の実現を図ることとしております。

<計画の全体像>

■…推進体制の整備 重点施策(3本の柱) ---…本格的な事業の推進 重点施策(3本の矢)

基本目標	現状・課題	9つの施策の方向	25個の施策	9つの数値目標
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	子どものライフスタイルの変化 角田市の小中学生の運動能力が全国平均を下回る	1 学校と地域における子どものスポーツ	1 児童生徒の健康な身体作り 2 学校体育の充実 3 社会スポーツ環境の充実	① 週2回以上運動を行う人(20歳以上)の割合 男 30%⇒41% 女 26%⇒49%
	働く世代のスポーツを行う機会、時間の減少 健康増進効果への注目	2 成人(働く世代)スポーツ活動の推進	4 スポーツ・レクリエーションへの参加促進 5 健康維持・体力向上・疾病予防のためのスポーツ推進 6 スポーツ活動の機会創出と交流の促進	② 新体力テストにおける値が全国平均値以上の項目数 0～3⇒4項目
	高齢化時代へ突入、医療費等の増大	3 高齢者のスポーツ活動の推進	7 高齢者団体の主催するスポーツ大会への参加促進 8 高齢者の健康・体力づくり推進	③ 総合型地域スポーツクラブの会員数 全体 400人⇒600人 みんなの教室 323人⇒490人
	障害者のスポーツ参加支援の必要性が高まる	4 障害者のスポーツ活動の推進	9 障害者スポーツ環境の充実 10 スポーツ・レクリエーション大会への参加促進	④ スポーツ少年団の団数と団員 430⇒400 団員 26⇒25 団
地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進	地域コミュニティの希薄化 コミュニティ機能、地域活性化機能への注目	5 市民参加型のスポーツイベント活動の推進	11 市民参加型のイベントの推進 12 総合型地域スポーツクラブの充実 13 スポーツ行政の改革	⑤ 人々が交流する大会開催・誘致数(全国・プロ) 3 ⇒ 5～6 試合
	急激な少子高齢化、東京一極集中による地方消滅の危機	6 スポーツコミッション・スポーツツーリズムの推進	14 観戦スポーツ・トップアスリートとの出会いの推進 15 スポーツ交流の促進	⑥ 阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数 2,300 ⇒ 3,000 人 市内 623 人 ⇒ 1,000 人
	競技スポーツの支援体制の未整備	7 競技スポーツの推進	16 競技団体の支援 17 指導者の育成 18 学校部活動の推奨	⑦ 市内大会以上の規模の大会の開催数 130 ⇒ 135 試合
誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備	ライフスタイル、個別のニーズの多様化 施設の老朽化	8 公共施設の有効活用促進と情報提供の整備	19 学校体育施設の開放事業の充実 20 市民のニーズに応じたスポーツ施設の整備 21 施設の安全と利便性の向上 22 スポーツ情報環境の整備・充実	⑧ 公共スポーツ施設の年間延利用者数 210,000 人⇒270,000 人
	指導者の高齢化 スポーツに期待される役割、機能の拡大に伴う知識、人材の不足	9 スポーツ活動の支援体制の充実	23 スポーツ指導員の増員と指導者の質的向上 24 スポーツボランティアの育成 25 スポーツ団体・健康推進団体の育成及び支援	⑨ 阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数(実行委員会構成団体以外の者) 50 人 ⇒ 150 人

●重点施策の検証

第1期計画で定めた目標値の達成状況について、以下の評価基準に基づき整理しました。

- 達成状況 ①達成（目標値＜実績値） ②改善傾向（基準値＜実績値＜目標値）
③要努力（実績値＜基準値＜目標値）

数値目標1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

	基準値 平成 25 年	実績値 平成 29 年	中間値 平成 30 年	実績値 令和 4 年	目標値	達成状況
週 2 回以上運動を行う人の割合	男性：30% 女性：26%	—	—	男性：30.8% 女性：29.5%	男性：41% 女性：49%	要努力
新体力テストにおける値が全国平均値以上の項目数	8 項目中 0～3	8 項目中 0～6	8 項目中 2～4	8 項目中 1～5	8 項目中 4	改善傾向
総合型地域スポーツクラブの会員数（※1）	全体 400 人 うち、みんスポ 323 人	全体 512 人 うち、みんスポ 411 人	全体 486 人 うち、みんスポ 378 人	全体 422 人 うち、Jr.会員 343 人	全体 600 人 うち、Jr.会員 490 人	改善傾向
スポーツ少年団の団数と団員数	団員 430 人 団数 26 団	団員 410 人 団数 25 団	団員 432 人 団数 25 団	団員 379 人 団数 24 団	団員 400 人 団数 25 団	改善傾向

（※1）みんスポ：みんなのスポーツ＝Jr.会員

数値目標2 地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進

	基準値 平成 25 年	実績値 平成 29 年	中間値 平成 30 年	実績値 令和 4 年	目標値	達成状況
人々が交流する大会開催・誘致数（全国・プロ）	3	3	4	2	5～6	要努力
阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数	2,300 人 市民 623 人	2,690 人 789 人	2,753 人 773 人	1,500 人（※2） 469 人	3,000 人 1,000 人	要努力
市内大会以上の規模の大会の開催数	130 件	150 件	162 件	77 件（※2）	135 件	要努力

（※2）令和元年～令和3年度は、台風災害・コロナ禍のため各種大会等を中止

数値目標3 誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備

	基準値 平成 25 年	実績値 平成 29 年	中間値 平成 30 年	実績値 令和 4 年	目標値	達成状況
公共スポーツ施設の年間延利用者数（学校施設を含まない）	210,000 人	241,473 人	248,453 人	193,725 人 （※3）	270,000 人	要努力
阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数（実行委員会構成団体以外の者）	50 人	129 人	135 人	59 人（※2）	150 人	改善傾向

（※3）令和元年～令和3年度は、台風災害・コロナ禍のため施設の利用を制限

●第1期計画後期期間（R1～R5）における重点施策

第1期計画の後期期間では、角田市スポーツ推進計画を効果的に推進するために、次の3つのプロジェクトを掲げ重点的に取り組みました。

①みんなで取り組む風土醸成プロジェクト（3つの土台）

国の第2期スポーツ基本計画（H29～R3）によるスポーツ事業の広がりに対応するために、スポーツ関係者にとどまらず、市民、地域、各種団体に『スポーツの広がり・新たな価値を浸透』する必要があります。

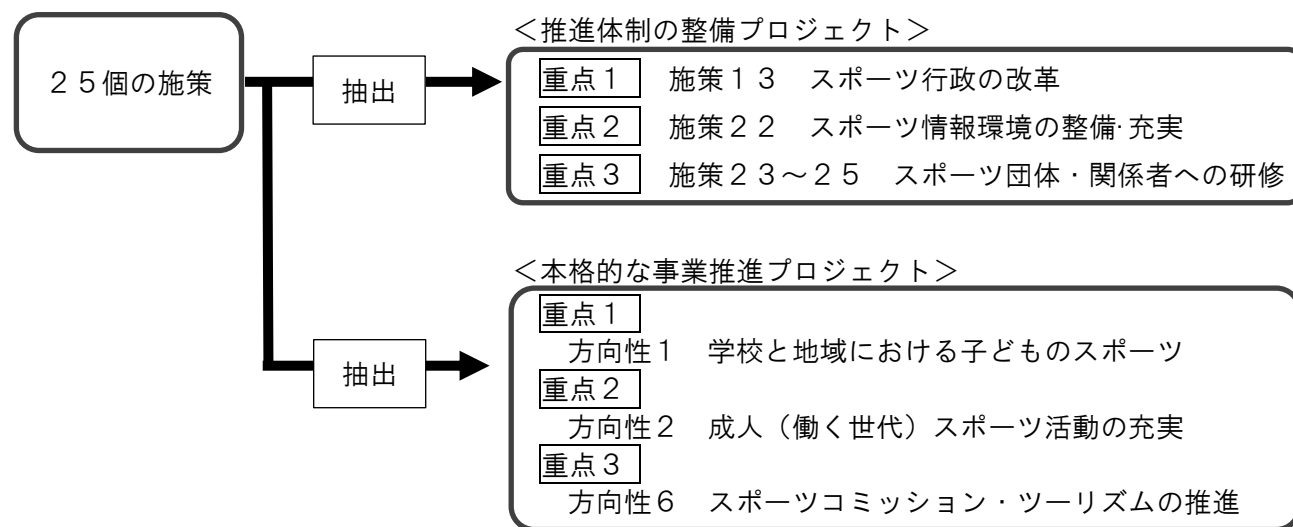
そのため、計画策定時の25個の施策に加え『みんなでスポーツを楽しむ風土を醸成するための取り組み』を新たに追加し行うこととします。

②推進体制の整備プロジェクト（3本の柱）

計画を効率的に進めるために25施策のうち、計画を推進するための『体制の整備に関する施策』を重点施策とし、集中的に取り組みます。

③本格的な事業推進プロジェクト（3本の矢）

計画を効果的に進めるために9つの施策の方向性のうち、『優先度の高い施策』を重点施策として、優先的に取り組みます。



①みんなで取り組む風土醸成プロジェクト（3つの土台）の評価

評価は令和元年度と比較して ◎：大きく進展 ○：進展 △：進展していない ×：後退

実績（Do）		評価（Check）
重点施策①（追加） 今までの枠組みを超えた積極的な連携 重点施策②（追加） スポーツの新たな定義・価値の浸透 重点施策③（追加） 全ての市民がスポーツ参画するきっかけの創出	R1～ （公財）笹川スポーツ財団との連携協定を締結。専門的なサポートを受け、次のとおり取り組む。 ■ R1.9～ 地域スポーツ運営組織「スポネットかくだ*1」を設置・運営 ◇懇談会等を開催し課題・情報共有 R1～ 健康スポーツ懇談会 R2～ 部活動懇談会 ◇専門チームを設置し課題の解決策を検討 R1～ 健康チーム、情報チーム R2～ 乳幼児チーム R3～ 部活動チーム R4～ 車いすチーム *1 スポーツネットワークかくだの略称。スポーツによる地域課題解決のための協議体で、スポーツ関係団体、大学等及び行政の代表者で構成される。	■ スポネットかくだ の運営を通して今までの枠組みを超えた連携体制を構築でき、さまざまな課題解決につながった。 ★より持続可能な運営体制の構築が望まれる。
	■ R3～ 市民の健康づくりのための住民総参加型イベント「角田市チャレンジデー*2」を実施 *2 （公財）笹川スポーツ財団が主催する毎年5月の最終水曜日に行われる住民総参加型のスポーツイベント。参加者は15分以上の運動を行い、日常的な運動の習慣化を図るイベント。角田市では令和3年度から参加している。	■ チャレンジデー を通して多くの市民にスポーツを参画するきっかけを創出できた。 ★スポーツ無関心層 への効果的な働きかけが必要。

②推進体制の整備プロジェクト（3本の柱）の評価

実績（Do）		評価（Check）
施策13 スポーツ行政の改革 ■ 事務の効率化・見直し ・R4～ 4施設の指定管理をKスポとして1つにまとめることで指定管理者がスケールメリットを生かせる体制を構築（施設の一体管理による費用削減、職員配置の柔軟性の確保、施設間で連携した事業の提供等） ■ 財政基盤の強化 ・（継続）toto助成金の有効活用 ・（継続）国庫補助等の有効活用 ・R2～ 企業版ふるさと納税の活用		◎ ■ 指定管理の見直し により、本計画を推進するための体制の整備が図れた。 ★引き続きさまざまな観点から財源確保 する必要あり
施策22 スポーツ情報環境の整備・充実 ■ スポネットかくだ 情報チーム で企画・調整を開始 ・R1～ 地域スポーツ情報誌「スポブレ」を年11回発行 ・R1～ 道の駅との連携チラシ「つなぐ」の定期発行 ・R2～ SNSの活用開始 ・R4～ 道の駅情報コーナーにスポーツコーナーを設置		◎ ■ 情報環境の整備 は十分に行われた。 ★スポーツ無関心層 への情報発信について工夫が必要
施策23～25 スポーツ団体・関係者への研修 ■ R4～ 指定管理の更新に伴いスポーツ交流館の業務拡充 ・スポーツ団体活動の支援、関係者への研修拡充		○ ★人材育成に努めた が、スタッフ・指導者の高齢化に対応するための <u>十分な後継者育成には至らなかった</u>

③本格的な事業推進プロジェクト（3本の矢）の評価

実績（Do）	評価（Check）
方向性1 学校と地域における子どものスポーツ ■スポネットかくだ 乳幼児チームで企画・調整 ・R2～ 元気な子を育成するために、効果が期待できる乳幼児期に運動あそびを提供する「かくだ版アクティブ・チャイルド・プログラム」を開始 ■スポネットかくだ 部活動チームで企画・調整 ・R4 部活動の地域移行推進基本計画の作成 ・R5～ 段階的な地域移行の開始	◎ ■乳幼児期の取組みは、アンケート結果から子どもの運動実施に対する気持ちに好影響がある等、成果あり。 ■中学校の部活動については現状分析を踏まえた今後の方向性をまとめることができたが今後の円滑な実施が求められる。 ★幼保小中の連携による効果的な取組みにつなげるためにも小学校の現状分析が必要。
方向性2 働く世代のスポーツの充実 ■スポネットかくだ 健康チームで企画・調整 ・R3～ 角田市チャレンジデーの開始 ・R4～ Kスポ指定管理者により、トレーニング室のリニューアル、福利厚生施設として企業向けの特別会員制度開始等	○ ■特にトレーニング室のリニューアルが働く世代のスポーツを推進。 ★Kスポの企業の福利厚生事業でのさらなる活用やスポーツ無関心層への働きかけが望まれる。
方向性6 スポーツコミッション・スポーツツーリズムの推進 ■Challengemillion 市民会議（R1～R3）、スポネットかくだ（R4～）がアウトター事業（交流人口拡大）を企画・調整し、スポーツと道の駅が連携する「かくだ版スポーツツーリズム」を展開 ・R1～ <u>健康拠点化事業</u> （道の駅にウォーキングステーション設置、市ウォーキング協会設立支援等） ・R2～ <u>幼児遊び場事業</u> （交通公園（愛称「どんぐりぱーく」）に幼児遊具の設置、バランスボール広場特設等） ・R3～ <u>大会誘致事業</u> （ドリームベースボール（宝くじ事業）を誘致等）	◎ ■交通公園（どんぐりぱーく）には多い日で2,000人を超える来場があり道の駅の売り上げにも貢献している。 ★アフターコロナに向け、健康づくり運動イベントの新規開催や、大会・スポーツ合宿の再開について効果的な受入れが望まれる。

重点施策全体の評価と今後の方向性

- ・25個ある施策を10年間で効率的で効果的に推進するために、前期5年間で体制の整備を進め、後期5年間で本格的な事業を推進したことで、一定の効果を得ることができました。
- ・また、後期から追加して取り組んだ『みんなで取り組む風土醸成プロジェクト』も有効でした。
- ・次期計画においても、計画を効率的で効果的に進めるために、引き続き『みんなで取り組む風土醸成』の取組みや『重点施策の設定』が必要であることが確認できました。

(2) 第2期計画前期アクションプランの方向性

スポネット会議、スポーツ推進審議会の意見を反映する

基本理念である『アクティブシティかくだ』の実現に向け、前期アクションプランでは、38施策のうち、計画を効果的かつ効率的に実施するため、新たに基本目標に加わった『日常における身体活動の推進』に関連する施策を重点施策として集中的に取り組めます。

また、第1期計画の後期アクションプランで有効性が確認された「みんなで取り組む風土醸成」の取り組みを継承することとし、“スポネットかくだ”を核とする、関係団体との連携体制の強化に引き続き取り組むこととします。

＜前期アクションプランの重点施策＞

38個の施策

「日常における
身体活動」に関
連する施策

- 施策 13 角田市チャレンジデー参加率の向上
- 施策 14 家庭でできる健康づくりメニューの推奨
- 施策 15 市内企業に対する「健康経営」の推奨
- 施策 16 職場におけるスポーツ活動の促進

(3) 前期アクションプラン重点プロジェクト

上記(2)を踏まえ、前期アクションプランでは次の2つのプロジェクトに重きを置いて実施することとし、効果的な計画推進を図ります。

1

日常における身体活動推進プロジェクト（新）

2

みんなで取り組む風土醸成プロジェクト（継続）

3 前期アクションプランの2つの重点プロジェクト

1

日常における身体活動推進プロジェクト（新）

「スポーツ基本法」では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」とされています。

また先般、国が策定した「第3期スポーツ基本計画」では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、次の3つの視点が謳われています。

●スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策

①スポーツを「つくる／はぐくむ」

→社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に対応するというスポーツを『つくる／はぐくむ』という視点

②スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

→様々な立場・背景・特性を有した人・組織が『あつまり』『ともに』活動し、『つながり』を感じながらスポーツに取り組める社会の実現を目指すという視点

③スポーツに「誰もがアクセスできる」

→性別、年齢、障害の有無、経済的事情、地域事情等にかかわらず、全ての人がスポーツにアクセスできるような社会の実現・機運の醸成を目指すという視点

このことから、本市においても、スポーツをより身近なものと感じていただくため、スポーツの概念を幅広く捉え、ルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性の高いものだけでなく、健康の保持・増進のためのウォーキングや体操、トレーニング、公園での外遊びのほか、演劇、舞踊等の芸術文化活動や、地域の社会貢献活動等に伴い身体を動かすこと等、日常における身体活動の全てをスポーツとして扱います。

【重点施策】

- | | |
|------|--------------------|
| 施策13 | 角田市チャレンジデー参加率の向上 |
| 施策14 | 家庭でできる健康づくりメニューの推奨 |
| 施策15 | 市内企業に対する「健康経営」の推奨 |
| 施策16 | 職場におけるスポーツ活動の促進 |

第1期計画の後期アクションプランで実施した当該プロジェクトを今回も踏襲します。

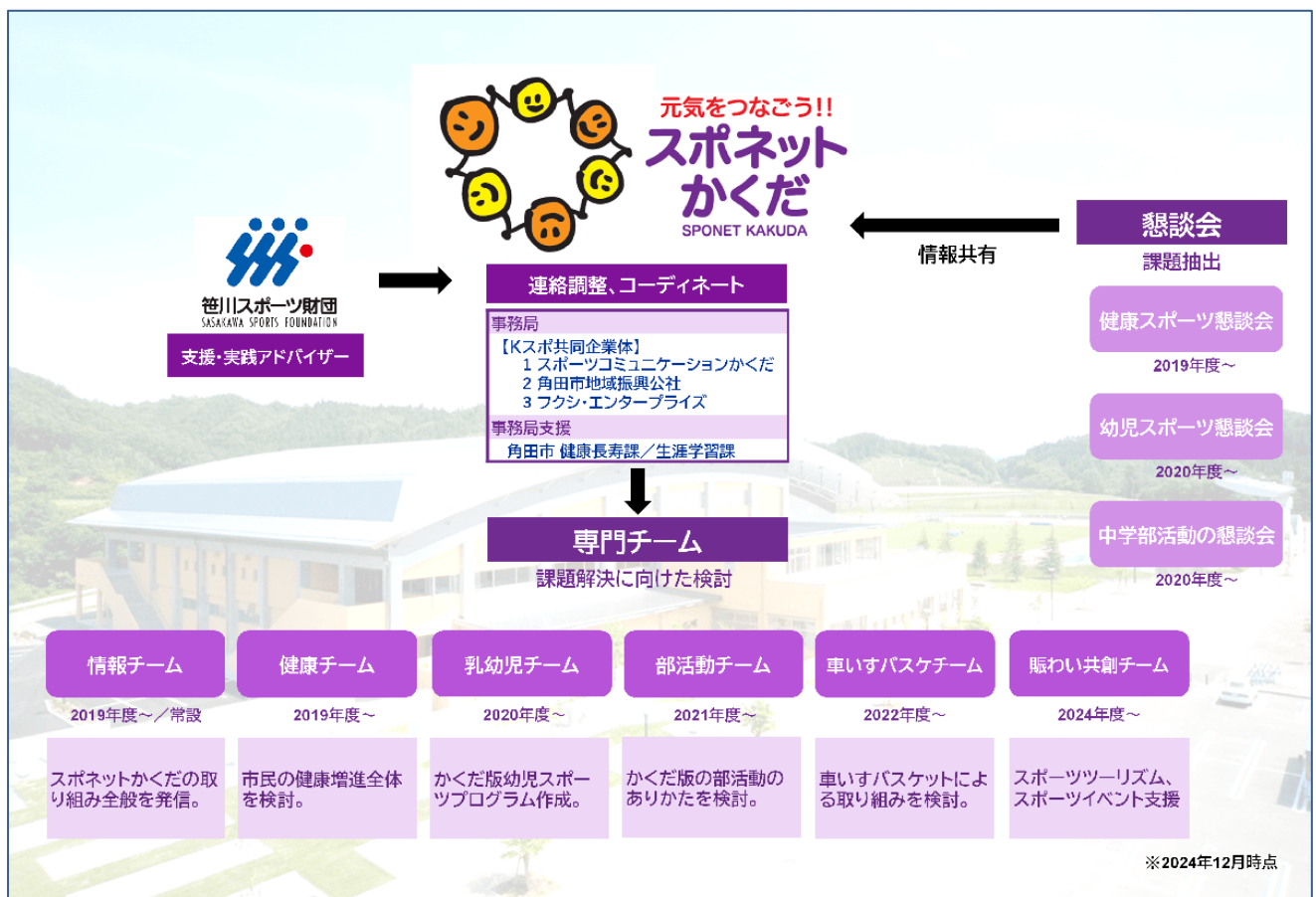
第2期角田市スポーツ推進計画を円滑に推進するためには、行政やスポーツ関係団体にとどまらず、市民、地域を巻き込んでみんなでスポーツを楽しむ風土を醸成する必要があります。

この「みんなで取り組む風土醸成プロジェクト」は、地域スポーツコミッションである『スポーツネットワークかくだ』の取り組みをさらに強化することで推進します。

各スポーツ団体関係者、学識経験者及び企業等との連携を強化し、内部に組織された専門チームの活動を支援すると共に、市民の健康増進を図り、アクティブシティの推進に向け取り組んでいきます。

◎スポーツネットワークかくだ組織図

※（公財）笹川スポーツ財団 HP より



【重点施策】

- | | |
|------|------------------------------|
| 施策19 | 地域スポーツ運営組織「スポーツネットワークかくだ」の充実 |
| 施策29 | 各種スポーツ情報の充実 |
| 施策30 | 多様な媒体での情報発信 |
| 施策31 | スポーツ団体・健康推進団体の育成及び支援 |
| 施策32 | 地域スポーツクラブと学校との連携推進 |

4 前期アクションプランの個別施策

38 の個別施策の詳細は、基本目標ごとに次のとおり。

※市役所所属の略称

課等名	略表記	課等名	略表記
まちづくり推進課	まち推	地域包括支援センター	包括セ
自治センター	自治セ	子育て支援課	子育て
健康推進課	健推課	都市計画課	都市計
社会福祉課	社福課	教育総務課	教総課
介護支援課	介護課	生涯学習課	生学課

基本目標 1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

■横断的な取組みの推進

(ライフステージごとの施策を連携させた横断的な取組みや、それぞれの施策が切れ目なく継続するような取組みを優先的に推進)

※Kスポ指定管理者 → 指定管理者

現状	・ 急激な少子高齢化に伴って人口減少が加速的に進んで行くこと ・ ライフステージごとの施策で横断的で効率・効果的な事業が少ない										
事業	ライフステージ等				事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
	子	成	老	障							
◆角田市チャレンジデー	○	○	○	○	毎年 10 月第 1 水曜日に市民総参加型のスポーツイベントを開催	実施	→	→	→	→	全団体
地区民球技大会・運動会	○	○	○	○	各自治センターで、地区民を対象とする球技大会や運動会を開催	実施	→	→	→	→	市(自治セ)
阿武隈リバーサイドマラソン	○	○	○	○	子どもからお年寄りまで楽しめるマラソン大会(第 35 回(R4 年度)からウォーキングの部を新設)	実施	→	→	→	→	スポ協・指定管理者・市(生学課)
スポーツフェスティバル	○	○	○		子どもから大人までスポーツを楽しむイベントを開催(体力測定も実施)	実施	→	→	→	→	スポ協、スポ少、指定管理者
■親子対象とした取組み											
親子遊び場開放	○	○	○	○	スポーツ交流館において親子の遊び場を開放 交通公園にバランスポール広場開設	実施	→	→	→	→	指定管理者
かくた版アクティブ・チャイルド・プログラム	○	○	○	○	乳幼児を対象とした運動あそびを通して元気な子の育成を目指す取組み	実施	→	→	→	→	幼・保施設、市(子育て、生学課)
子育て遊びのマルシェ	○	○			乳幼児の親子を対象に、運動あそびを提供すると共に、子育ての仲間づくりを支援	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(生学課、子育て)

施策の方向ごとの個別事業

(1) 乳幼児、子ども及び小中高生等のスポーツの推進

現状	・子どものライフスタイルの変化により運動する機会の減少（運動習慣の二極化） ・角田市の小中学生の運動能力が全国平均を下回る								
施 策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門	
【施策1】 未就学児から児童生徒の健康な身体づくりと体力・運動能力向上	こどもリレーカーニバル	角田市陸上競技場を会場に、角田・丸森の小学生を対象とした陸上競技大会を開催	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（生学課）	
	ジュニアスポーツクラブ	スポコムかくたと連携し、未就学児～小中学生を対象とした各種スポーツクラブを通年開催	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（生学課）	
【施策2】 小学校におけるスポーツの推進	小学校の体育授業の充実	体育の授業や課外授業等を活用し、運動することの楽しさを体験する	実施	→	→	→	→	小学校、市(教総課)	
【施策3】 中高生におけるスポーツの推進	(中・高校)運動部活動の支援	外部指導者の派遣、休日の地域クラブ活動の実施を通し、専門性の高い指導者の指導を受ける機会を提供	実施	→	→	→	→	中学校・高校、指定管理者、市(教総課、生学課)	

施 策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
■学校等との連携		かくだ版アクティブ・チャイルド・プログラムでの、保育現場への出前講座	実施	→	→	→	→	◇スポネット (乳幼児チーム)
		中学校部活動の地域移行(展開)を推進 (R5～休日部活動を段階的に地域クラブへ移行)	実施	→	→	→	→	◇スポネット (部活動チーム)
		角田市チャレンジデーの実施 (R3～保育所、幼稚園、小・中学校、高校との連携)	実施	→	→	→	→	小・中学校、高校、市(生学課)

(2) 働く世代・子育て世代のスポーツ活動の推進

現状	- 働く世代のスポーツを行う機会、時間の減少 - 男性に比べ、女性がスポーツに取り組む割合が低い
----	---

施 策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策4】 家族で楽しめるスポーツプログラムの実施	ふあみふあみ	未就学児の親子を対象に、リズム体操、リミックダンスなどを実施	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(生学課)
	阿武隈リバーサイドマラソン大会	お父さんと一緒に、お母さんと一緒になど、家族で参加できる種目も実施	実施	→	→	→	→	スポ協、指定管理者、市(生学課)
【施策5】 スポーツ・レクリエーションへの参加の促進	みやぎスポーツDAYへ参加	県主催のみやぎスポーツ DAYへ参加	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(生学課)
	市P連親善スポーツ大会	角田市父母教師会連合会が、スポーツ玉入れ大会を開催(～R4 ビニールバレー、R5～スポーツ玉入れ)	実施	→	→	→	→	市父母教師会連合会
【施策6】 健康・体力維持向上・疾病予防のためのスポーツ・運動の推進	角田市健康ポイント事業	健康づくり事業の参加者に健康ポイントを付与	実施	→	→	→	→	市(健推課)
	団体の健康づくり事業へ付与	自治センター、地区振興協議会等が健康づくり運動教室、ウォーキング事業を開催	実施	→	→	→	→	地区振、市(自治セ、健推課)
	健康スポーツ教室へ付与	総合体育館などの運動体験会にも健康ポイントを付与し、健康づくり運動を推進	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(健推課)
	運動施設利用へ付与	運動施設の利用に対しポイントを付与し、運動の継続を支援	実施	→	→	→	→	市(健推課)
	ウォーキングによる健康推進事業	Kスポ内に整備したウォーキングコースを活用したイベントの実施、ウォーキング推進団体の育成支援	実施	→	→	→	→	指定管理者、道の駅、市(生学課)
	生活習慣病改善事業(健康づくりの教室)	生活習慣病の予防と改善を目的に、運動施設を活用した健康づくりを実施	実施	→	→	→	→	市(健推課)
【施策7】 女性のスポーツ参加促進・環境整備	ワンコイン教室の開催	Kスポ指定管理者が実施するワンコイン教室の実施(ヨガ、ピラティス、ボクササイズなど)	実施	→	→	→	→	指定管理者
	シニアスポーツクラブの開催	スポコムかくだと連携し、各種スポーツクラブを通年開催	実施	→	→	→	→	スポ協加盟団体、指定管理者
	骨粗しょう症検診での健康教育	女性の検診の一つである、骨粗しょう症検診来所者に対し、運動の必要性を伝え、運動施設や各種教室等での情報提供	実施	→	→	→	→	市(健推課)
■市内企業との連携		市内企業等と連携して角田市チャレンジデーの実施	実施	→	→	→	→	市内企業、市(生学課)

(3) 高齢者のスポーツ活動の推進

現状	- 高齢者人口が増えている中で、健康志向は高まっている - 日常的に取り組むことができる運動・スポーツの場の提供が求められている
----	---

施 策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策8】 身近な地域で気軽に参加できる運動機会の提供	ついでにお得コッコツ推進サークル事業	高齢者のサークル等が実施する、いきいき百歳体操や体力測定、脳トレなどの活動を支援	実施	→	→	→	→	市(介支課、包括セ)
	フレイル予防事業	体力測定やフレイルチェックアンケートなどにより、自分の身体の状態を把握。健康運動指導士等により筋力や心身の活力の維持、向上を支援	実施	→	→	→	→	市(健推課)
	地域活動団体へ健康づくり運動講師派遣事業	行政区、老人クラブ、ついでコッコツ団体、高齢者サロン等の日ごろの活動の場所に、健康づくり運動の講師を派遣	実施	→	→	→	→	市(介支課)
	健康づくり運動サークルの立ち上げ支援事業	健康づくり運動等を行うサークル団体の立ち上げを支援	実施	→	→	→	→	市(介支課)

【施策9】 高齢者スポーツ 大会への参加促進	市老連パークゴルフ大会、シニアスポーツ大会	主催者である角田市老人クラブ連合会（事務局：市社協）へ補助金を交付し、大会事務局を支援	実施	→	→	→	→	社協、市（介支課）
【施策10】 世代間交流によるスポーツ活動の企画	角田市チャレンジデー	毎年10月第1水曜日に市民総参加型のスポーツイベントを開催	実施	→	→	→	→	市（自治セ、健推課、介支課、生学課）

（４）障がい者のスポーツ活動の推進

現状	・共生社会を目指す中で、誰でも楽しめる障がい者スポーツの普及・促進を図る。 ・障がい者が、身近な場所で自主的にスポーツを行うための取組みが希薄
----	--

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策11】 パラスポーツ普及の促進・障がい者対応の種目紹介や体験	パラスポーツ体験会の開催	Kスポを中心に開催される各種大会において、車いすバスケ、ボッチャなどの体験コーナーを設け、障がい者スポーツ体験を支援	実施	→	→	→	→	指定管理者、社協、市（社福課、生学課）
【施策12】 スポーツ大会・レクリエーション大会への参加促進	全国身体障害者スポーツ大会	毎年開催される、全国障がい者スポーツ大会や各種スポーツ大会への参加費の一部助成	実施	→	→	→	→	市（生学課）

基本目標 2 日常生活における身体活動の推進

（１）日常生活における身体活動の推奨

現状	・運動不足を感じる中で、意識的に日常的な動作を増やす必要がある ・日常生活において体を動かすことを習慣化する必要がある
----	--

重点

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策13】 角田市チャレンジデー参加率の向上	角田市チャレンジデー	毎年10月第1水曜日に市内全域で開催。1日15分以上の運動（身体活動）を意識し、習慣化につなげることを目的に開催	実施	→	→	→	→	全団体

（２）家庭における身体活動の推奨

現状	・日常的な身体活動を意識的に行うことで、体を動かす動機付けにつなげる
----	------------------------------------

重点

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策14】 家庭でできる健康づくりメニューの推奨	運動・スポーツの習慣化	家庭でできる軽運動のメニューを紹介し、家事や仕事の合間にできるストレッチや筋トレなどの実施を支援	実施	→	→	→	→	市（健推課、介支課、生学課）

（３）職場における身体活動の推奨

現状	・オフィスでのアクティブな就業環境づくりによる健康経営のサポートが必要
----	-------------------------------------

重点

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策15】 市内企業に対する「健康経営」の推奨	角田市チャレンジデー	毎年10月第1水曜日に市民総参加型のスポーツイベントを開催	実施	→	→	→	→	市（健推課、介支課、生学課）
【施策16】 職場におけるスポーツ活動の促進	「昼活」の推奨	昼休みや休憩時間を利用してスポーツ活動を行う「昼活」の推奨。職場でのスポーツイベントの企画や物品の貸出等のサポート。	実施	→	→	→	→	市（健推課、生学課）

重点

基本目標3 地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進

施策の方向ごとの個別事業

(1) 市民参加型のイベントスポーツ活動の推進

現状	・地域コミュニティの希薄化 ・スポーツによるコミュニティ活性化機能の活用
----	---

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策17】 市民参加のイベントの推進	地区民球技大会・運動会	各自治センターで、地区民球技大会や運動会を開催	実施	→	→	→	→	市(自治セ)
	行政区での健康づくりへの取り組み	各行政区で、健康づくり行事を開催	実施	→	→	→	→	行政区
【施策18】 総合型地域スポーツクラブの充実	総合型地域スポーツクラブの支援	スポコムかくだの事務局を支援	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(生学課)
【施策19】 地域スポーツ運営組織「スポーツネットワークかくだ」の充実	かくだ版インナー事業、アウト事業の展開	(公財)笹川スポーツ財団から技術的助言等をいただきながら、関係者(団体)で組織を構成し、地域の課題を共有しながら解決に向けての取り組みを行う。 (R7.1 現在の専門チーム:①情報チーム、②健康チーム、③乳幼児チーム、④部活動チーム、⑤車いすバスケットチーム、⑥脈わい共創チーム)	実施	→	→	→	→	◇スポネット

重点

(2) スポーツツーリズムの推進

現状	・急激な少子高齢化、地方消滅の危機が予想される ・スポーツによる地域活性化(交流人口拡大)への注目が集まる
----	--

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策20】 観戦スポーツ及びトップアスリートとの出会いの推進	プロスポーツ等の観戦誘致	大学生による全国大会、県内に本拠地を構えるプロスポーツチームの公式戦等の開催	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(生学課)
	オリ・パラ出場選手との交流の場の設定	子どもたちのスポーツ交流教室を開催	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(生学課)
【施策21】 スポーツ交流の促進	交流や友好を目的とした大会の開催	自治体間の交流・親善大会の開催、市外の方も参加できるオープン大会の開催 例) 相馬市・角田市の親善柔道大会	実施	→	→	→	→	スポ協、スポ少、市(生学課)
	阿武隈リバーサイドマラソン大会	毎年11月の第1日曜日に角田市陸上競技場発着で、阿武隈川沿いをコースとしたマラソン大会を実施	実施	→	→	→	→	スポ協、指定管理者、市(生学課)
	スポーツ合宿機能の整備	スポーツ交流館において K スポ施設を利用して練習等を行う団体の受入れに際し、宿泊場所を提供	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(生学課)
■かくだ版スポーツツーリズム		道の駅かくだとかくだスポーツプレッジを有効活用したスポーツツーリズムを推進する ■かくだ版スポーツツーリズムの運営体制 スポネットかくだ(事務局:Kスポ指定管理者)において事務局を担う。	実施	→	→	→	→	◇スポネット

(3) 競技スポーツの推進

現状	・ 競技スポーツ支援が体系的に整備されているとはいえない。
----	-------------------------------

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策22】 競技力向上を図る競技団体の支援	スポーツ振興助成金の交付	全国大会、国際大会に出場した選手に助成金を交付（中体連、スポ少の試合のみ東北大会も該当）	実施	→	→	→	→	市（生学課）
	角田市スポーツ大会の開催	各種目の角田市スポーツ大会を開催	実施	→	→	→	→	スポ協、指定管理者、市（生学課）
【施策23】 指導者の育成	スポーツ振興助成金の交付	指導者養成の研修会にかかる経費の一部を助成	実施	→	→	→	→	市（生学課）
【施策24】 地域クラブ活動の推奨	部活動の地域移行	国の指針に基づき、休日の学校部活動を地域クラブへ移行する	実施	→	→	→	→	中学校、指定管理者、市（教総課、生学課）
	運動部への外部指導者派遣	中学校の運動部活動において教員の技術指導の補完を行うため、地域に在住するスポーツ指導者やスポーツ経験者等を外部指導者として派遣	実施	→	→	→	→	市（教総課）
【施策25】 プロスポーツを活かしたスポーツの振興	プロ・企業・大学スポーツとの連携	角田市に縁のあるプロ・企業・大学と連携し、スポーツ観戦、各種教室等の場を設定	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（生学課）

基本目標 4 誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備

施策の方向ごとの個別事業

(1) 公共施設の有効活用の促進

現状	・ 市民のライフスタイル、ニーズの多様化 ・ 施設の老朽化
----	----------------------------------

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策26】 学校体育施設の開放事業の充実	学校体育施設開放事業	学校の施設を学校教育に支障のない範囲で、児童・生徒、一般市民の利用に開放する	実施	→	→	→	→	小中学校、市（教総課、生学課）
【施策27】 市民のニーズに応じたスポーツ施設の整備	市民ニーズに応じたスポーツ施設の整備	市民のニーズに応じた施設の整備を行う。 【R7・R8 野球場スタンド改修】 【R8 野球場グラウンド整備】	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（生学課、都計課）
【施策28】 施設の安全性と利便性の向上	スポーツ施設の計画的な維持管理	施設や設備を、老朽化対策、バリアフリーなど安全性を考慮し改修や整備に努める ※スポーツ交流館、屋内温水プール、総合体育館についても計画的に維持・補修を行う	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（生学課、都計課）

(2) 効果的な情報発信

現状	・ 情報を手軽に入手できる環境づくりが求められる ・ 広報誌やSNSの活用による情報発信
----	---

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策29】 各種スポーツ情報の充実	情報発信の充実	スポーツ推進計画関連についての情報発信を継続し、その理念の浸透を図る。	実施	→	→	→	→	市（生学課）
	スポーツ情報誌での情報発信	スポネットかくだ「情報チーム」で編集・発行している「スポーツプレスかくだ」を定期的に発行する	実施	→	→	→	→	◇スポネット（情報チーム）、指定管理者、スポ協、スポ少、市（生学課）
	ホームページ等での情報発信	市及び指定管理者のホームページ・SNS において市内のスポーツ情報を積極的に発信する。	実施	→	→	→	→	市（生学課）

重点

重点		行政区長の文書配達の積極的活用	市民へのスポーツ情報の発信を強化するため、「スポーツプレスかくた」や「スポーツ施設の指定管理者の周知文書」を文書配達により周知	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（総務課、生学課）
		道の駅かくたとの連携	道の駅かくたと連携した情報発信を行う 【R1～ 連携チラシ「つなぐ」（新聞折込み）発行】 【R4～ 道の駅情報コーナーから効果的な情報発信】	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（生学課）
	【施策30】 多様な媒体での情報発信	SNSの積極的な活用	指定管理者及び市のスポーツ情報を、それぞれの管理するSNSやホームページを用いて発信する。 例）Kスポ施設で撮影した運動動画を紹介	実施	→	→	→	→	◇スポネット（情報チーム）、指定管理者、市（生学課）

（３）スポーツ団体活動の支援体制の充実

現状	・誰もがスポーツに参加できる基盤強化 ・スポーツ活動を支える地域スポーツの体制強化
----	--

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
重点	【施策31】 スポーツ団体・健康推進団体の育成及び支援	スポ協、スポ少、スポコム事務局長支援	各団体事務局へスポーツ振興助成金を交付することによって、各団体の育成を支援する	実施	→	→	→	市（生学課）
		スポーツ交流館でのスポーツ団体支援	スポーツ交流館において、スポーツ団体等の活動支援を行う	実施	→	→	→	指定管理者、市（生学課）
		スポーツ関連団体への研修	スポーツに期待される新しい役割・機能（新しいスポーツ文化）について関連団体を対象とした研修を開催	実施	→	→	→	指定管理者、市（生学課）
重点	【施策32】 地域スポーツクラブと学校との連携推進	地域スポーツクラブと学校との連携	小中学生で構成される、地域スポーツクラブ（スポ少等）と学校との連携を推進する	実施	→	→	→	スポ協、スポ少、指定管理者、市（生学課）

（４）スポーツに関わる人材の育成と活躍の場の確保

現状	・スポーツ指導者の高齢化が進み、後任の人材育成が急務である ・スポーツ活動を支えるスタッフ、ボランティアの育成・支援が必要
----	--

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策33】 指導者の育成	スポーツ推進委員の研修参加	スポーツ推進委員が、県・大河原管内スポーツ推進委員協議会等の主催する研修会へ積極的に参加	実施	→	→	→	→	市（生学課）
	スポーツ指導者研修会の開催	スポーツ団体等において、指導を担う人材育成のため研修会を開催する	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（生学課）
【施策34】 専門指導者の派遣や特別講習会等の開催	学校部活動の地域移行	休日の学校部活動の地域移行に際し、各競技の専門指導者を学校へ派遣し、競技力の向上に努める	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（生学課）
	特別講演会の開催	スポーツ合同表彰式等において、著名な元選手等を招き、講演会等を実施する	実施	→	→	→	→	スポ協、スポ少、指定管理者、市（生学課）
【施策35】 スポーツ協会や競技団体との連携による強化事業の展開	各種スポーツ大会の開催	各種団体が主催する大会の運営について、団体間の連携を図り、サポート体制等を構築しながら事業展開を図る	実施	→	→	→	→	スポ協、スポ少、指定管理者、市（生学課）

（５）自然と体を動かしたくなる、動かしてしまう環境の整備

現状	・自然と体を動かしたくなる環境を整備
----	--------------------

施策	事業名	事業概要	R6	R7	R8	R9	R10	担当部門
【施策36】 公園やグラウンド、散歩したくなるような歩道等の環境整備	公園及び歩道等の環境整備	市民が安心・安全に運動に親しむことができる公園、歩道等の環境を整備する	実施	→	→	→	→	指定管理者、市（都整課、生学課）

【施策37】 健康ポイント事業を活用した運動機会の拡充	角田市健康ポイント事業	健康づくり事業の参加者に健康ポイントを付与	実施	→	→	→	→	市(健推課)
【施策38】 ナッジ理論を活用した周知・啓発	運動ができる場所であることの周知・啓発	公園や広場に「ここで運動しよう!」というサインやポスターを設置し、運動を促すメッセージを視覚的に行うなど、内発的な行動に呼びかける。	実施	→	→	→	→	指定管理者、市(生学課)
	かくだトレジャービレッジ	角田市内で、保護者と子どもが参加する宝探しイベント。宝探しをしながらウォーキングをすることにより健康づくり、体力向上につなげる。	実施	→	→	→	→	指定管理者

5 計画の進行管理（C）について

毎年度、数値目標に対する結果を確認することにより、計画の進捗状況を把握します。

6 計画の評価（C）・改善（A）について

毎年度『38個の施策』の評価を行い、施策ごとに課題を明確化し、今後の事業に反映させます。

（1）評価の概要及びスケジュール

- ① 事務局（生涯学習課）が事業の実施団体と情報を共有し、評価シートを作成。

なお、評価区分は、次のとおりとします。

- ◎：達成（評価年度の進捗状況が、すでに目標を達成している）
- ：計画どおり進捗（評価年度の進捗状況が、計画通り）
- △：進捗が不十分（評価年度の進捗状況が不十分）
- ×：未実施

※評価の単位は、施策の方向性ごととします。ただし、重点施策については、より詳しく評価できるように施策単位で行います。

↓

- ② スポネット会議において構成員から意見聴取

↓

- ③ スポーツ推進審議会において、審議会としての意見を整理の上、教育委員会へ

↓

- ④ ③の意見を踏まえ、教育委員会が今後の事業に反映

角田市スポーツ推進計画における『11の数値目標』の進行管理表

基本目標	指標	基準値 (令和4年度)	R6～R15の各年実績	目標値 (令和15年度)
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	(運動の習慣化) 週2回以上の運動を行う人(20歳以上)の割合	男性: 30.8% 女性: 29.5%		男性: 40% 女性: 40%
	(身体活動の習慣化) 運動に加え生活活動(日常生活における家事・労働・通勤・通学等を伴う活動)で歩行と同程度以上の活動を1日30分・週2回以上行う人の割合	65.7%		75.0%
	新体力テストにおける値が全国平均値以上の項目数	8項目中 1～5項目		8項目中 4項目
	総合型地域スポーツクラブの会員数	全体: 422人 Jr.会員: 343人		全体: 600人 Jr.会員: 490人
	スポーツ少年団の団数と団員数	団員数: 379 団員 団数: 24 団		団員数: 400 団員 団数: 25 団
日常における身体活動の推進	角田市チャレンジデー参加率	30.9%		50.0%
地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進	人々が交流する大会開催・誘致数(全国・プロ)	2 試合		5 試合
	阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数	1,500 人 (市内: 469 人)		2,000 人 (市内: 1,000 人)
	市民大会以上の規模の大会の開催数	77 件		100 件
誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備	公共スポーツ施設の年間延利用者数	193,725 人		250,000 人
	阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数(実行委員会構成団体以外の者)	59 人		150 人

※網掛けには、各年次の実績を記入する。

進捗管理において、前期最終年度(5年目)の中間目標を設定する。

計画目標が達成されたもの、達成が困難な目標の修正は、スポーツ推進審議会に諮って見直すこと。

角田市スポーツ推進計画 38個の施策 評価シート（評価：〇〇年度）

1 評価の対象

基本目標〇「 」における〇個の施策

2 計画における数値目標の進捗状況

No.	項 目	当初	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 実績	R10 中間目標	～	R15 目標値
1									
2									
3									

3 施策ごとの評価

(1) ○○○○の推進

策定時の課題	
--------	--

施 策	事業概要	ＲＯＯ 主な成果・課題	事務局 評価	最終 評価	所管課 (関係団体)
施策1 ○○○○	■・・・ ■・・・ ■・・・	≪関係する数値目標≫・・・No.○ ≪主な成果≫			
施策2 ○○○○	■・・・ ■・・・	≪主な課題≫			
施策3 ○○○○	■・・・ ■・・・ ■・・・				
審議会での意見					

**第2期角田市スポーツ推進計画
前期アクションプラン
(令和6年度版)**

令和7年3月発行

編集・発行

角田市教育委員会生涯学習課

〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館 10

TEL:0224-63-2221 FAX:0224-63-5633